

Cisco Unified Presenceのメモリ枯渇の脆弱性

Medium	アドバイザーID : Cisco-SA-20130510-CVE-2013-1242	CVE-2013-1242
	初公開日 : 2013-05-10 18:53	
	バージョン 1.0 : Final	
	CVSSスコア : 5.0	
	回避策 : No Workarounds available	
	Cisco バグ ID : CSCug38080	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Unified PresenceのWebフレームワークの脆弱性により、認証されていないリモートの攻撃者がメモリ使用率を増加させる可能性があります。

この脆弱性は、該当システムに不正なTCPパケットがフラッディングされた場合のメモリ割り当ての不適切な処理に起因します。攻撃者は、不正なTCPパケットを該当システムに送信することで、この脆弱性を不正利用する可能性があります。この不正利用により、攻撃者はメモリ使用率を増加させる可能性があります。攻撃が終了しても、メモリ使用率は通常の状態には戻りません。システムのリブートは、空きメモリを復元するために必要です。

シスコはセキュリティ通知で脆弱性を確認しましたが、ソフトウェアアップデートは利用できません。

この脆弱性をエクスプロイトするには、攻撃者が内部の信頼できるネットワークにアクセスして、不正なTCPパケットをターゲットシステムに送信する必要があり、エクスプロイトが成功する可能性が低くなる可能性があります。

影響を受けるバージョンの最新リストについては、「ベンダーのお知らせ」セクションのバグレポートを参照してください。

シスコはCVSSスコアを通じて、機能不正利用コードが存在することを示していますが、このコードが一般に公開されているかどうかは不明です。

該当製品

シスコは、[CVE-2013-1242](#)のリンクでバグID [CSCug38080](#)のセキュリティ通知をリリースしました。

脆弱性のある製品

このアラートが最初に公開された時点では、Cisco Unified Presenceバージョン9.5以前には脆弱性が存在していました。Cisco Unified Presenceの新しいバージョンも影響を受ける可能性があります。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

回避策

今後のアップデートやリリースについては、ベンダーに連絡することを推奨します。

信頼できるユーザだけにネットワークアクセスを許可することを推奨します。

IPベースのアクセスコントロールリスト(ACL)を使用して、信頼できるシステムだけに該当システムへのアクセスを許可することを検討することもできます。

管理者は、堅実なファイアウォール戦略を使用して、影響を受けるシステムを外部からの攻撃から保護できます。

影響を受けるシステムを監視することを推奨します。

修正済みソフトウェア

ソフトウェアの更新プログラムは利用できません。

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team (PSIRT) は、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表を確認していません。

URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/Cisco-SA-20130510-CVE-2013-1242>

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
-------	----	-------	-------	----

1.0	初版リリース	適用外	Final	2013年5月 10日
-----	--------	-----	-------	----------------

利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。